

速報

サポートセンターフェスティバル開催日時 決定！今年度は2025年3月1日（土）・2日（日） に開催します！

さいたま市市民活動サポートフェスティバルとは？

- ・市民活動団体の皆さまの活動PR
- ・団体相互の親睦や交流
- ・市民活動への理解や関心を高めて
市民活動の輪を広げる
- ・新たな市民参加を促進する

2日間のお祭りです。

サポートセンターフェスティバルに参加して団体の紹介や活動発表、
ワークショップなどを行い、会員募集をしたり、市民の皆さまに活動を
知ってもらいましょう！

続報は館内掲示物、ホームページ「さポット」、公式 X（旧 Twitter）等でお知らせ予定です。



◀ホームページ「さポット」

公式 X▶



所在地

〒330-0055 埼玉県さいたま市浦和区東高砂町11番1号 コムナーレ9階

電車の場合

JR「浦和」駅下車、東口より徒歩1分

バスの場合

「浦和駅東口」バス停下車、徒歩1分

「浦和駅西口」バス停下車の場合は、浦和駅東西連絡通路をご利用ください

自動車・バイクをご利用の場合

市民活動サポートセンター専用の駐車場はございません。近隣の有料駐車場
又は公共交通機関をご利用ください。なお、当センターがあるビルの地下に、
さいたま市営「浦和駅東口駐車場」がございます（有料）。

自転車をご利用の場合

市民活動サポートセンター専用の駐輪場はありません。近隣の有料駐輪場又
は公共交通機関をご利用ください。なお、最寄りの駐輪場は、当センターが
あるビルの地下2階にございます（有料）。



お問合せ さいたま市市民活動サポートセンター（受付時間 9 時～ 21 時 30 分）TEL:048-813-6400 FAX:048-887-0161

編集・発行：さいたま市市民活動サポートセンター（指定管理者：公益財団法人さいたま市文化振興事業団）／2024 年 8 月

Saitama City Citizen Activity Support Center

News Letter

さいたま市市民活動サポートセンター ニュースレター



「夏祭り飾り de 活動紹介パネル展」を開催中です！

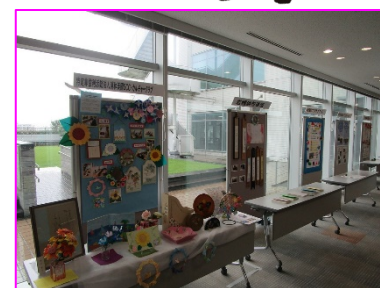


夏祭りをテーマに各団体が日頃の活動記録やイベント案内のパネル展を **8月7日** まで開催して
います。

開催期間中はデジタルサイネージで参加団体の紹介動画を放映し、来館者にはパンフレットも
配布しています。

参加団体一覧（敬称略）

1. 伊奈さいたま会
2. 開智・岩槻探究クラブ
3. 世界に目を向けよう～今、私たちにできること
4. 特定非営利活動法人浦和美園 SCC・カルチャークラブ
5. 岩槻俳句連盟
6. 笹目川の環境を守る会
7. 歌声の集い
8. 世界料理文化交流会
9. 地域 ICT クラブさくら
10. 浦和麗明高等学校
11. 特定非営利活動法人子ども文化ステーション



今回は **クリスマス** をテーマにした活動紹介パネル展を開催します。

詳細についてはホームページ「さポット」や館内掲示にてお知らせします。



来て・見て・話してつながる 市民活動サークル交流&展示会

「プラザイースト」「プラザウエスト」
「市民活動サポートセンター」
「市内 19 施設のコミュニティセンター」の
利用団体を対象とした
交流イベントを開催します！



日時 9月29日（日）
11：30～16：30

場所 市民活動サポートセンター
中央ラウンジ

特別公演：「雲龍亭雨花 独演会」

2024 年 9 月 29 日（日）

開演 14 時 00 分 終演 15 時 00 分

会場：コムナーレ 9 階 第 15 集会室

プロフィール

埼玉県出身。2008 年 1 月、四代目春雨や雷蔵に入門。

春雨や風子となる。2008 年 2 月、浅草演芸ホールで初高座。演目は「転失気」。

2012 年 3 月、ニッ目昇進。2024 年 5 月上席より、真打昇進。

【出囃子】春日龍神【活動期間】2008 年～【所属】落語芸術協会

【受賞歴】2013 年 2 月 相模原若手落語家選手権予選：協賛賞受賞



市民活動のために役立つ講座・イベント

■「インボイス制度と電子帳簿保存法」セミナー

インボイス制度、電子帳簿保存法について、わかりやすく説明します。

日時 令和6年8月21日(水)18:30～20:30 全1回

対象 法人・任意団体等で税務申告の必要な方、認定NPO法人や特定NPO法人の方、市民活動をされている・始めようと考えている方で興味のある方 **講師** 金子由里子氏(埼玉県共助仕掛人、公認会計士・税理士) **定員** 15名 **持ち物** 筆記用具、電卓 **会場** サポセン中央ラウンジ **申込開始日** 受付中

■ Googleフォームを使ってみよう

Googleフォームを使ってWebアンケートや申込フォームを作成する方法を学びます。

日時 令和6年9月8日(日)13:30～16:30 全1回

対象 NPO、市民活動に携わっている、または市民活動を始めようと考えている方でGoogleアカウントを所有している方 **講師** 八王子市市民活動支援センター職員 **定員** 15名 **持ち物** 筆記用具、ノートパソコン(Google Chromeがブラウザで使えるもの) **会場** サポセン中央ラウンジ **申込開始日** 受付中

■ 地域 ICT リーダの役割を学ぶセミナー

地域が求めるICTリーダの取り組みや活動のルールなどを学べるセミナーを開催します。

日時 令和6年10月5日(土)13:30～16:00 全1回

対象 地域ICTリーダに興味のある方、市民活動を始めようと考えている方、ボランティア活動に興味のある方 **講師** 高橋司氏(さいたま市地域ICTリーダ) **定員** 20名 **持ち物** 筆記用具 **会場** サポセン中央ラウンジ **申込開始日** 受付中

【問合せ・申込先】

さいたま市市民活動サポートセンター
TEL:048-813-6400 FAX:048-887-0161
E-mail:supportcenter@saitama-culture.jp

※メール、FAX でお申し込みの際は以下をお知らせください。

件名: 講座名 本文: 氏名・電話番号・市民活動の有無



サポセンのイベント情報はホームページ「さぽット」でも発信しています。▶



♥2024 年度障害者支援団体への助成／(公財)タチバナ財団

概要 公益財団法人タチバナ財団は、「障がい者が自分らしく生きていく日本をつくる」というスローガンに従い、障がい者又は障がい者支援団体の社会参加活動等に対する支援を通じて、障がい者の社会参加と自立を促進し、障がい者の福祉の向上に貢献することを目的とします。

助成金額 総額 600万円を予定し、1件（一団体）につき30万円を上限といたします。

助成対象 障がい者支援を行う社会福祉法人、公益法人、NPO法人等の非営利の民間団体で3年以上の継続した活動実績がある団体に対して、障がい者の社会参加を促す活動（展覧会、音楽会、スポーツ大会などの体験活動）並びに障がい者の理解を深める活動費用の一部及び福祉活動に直接必要な環境整備のための施設整備・備品等の調達資金の一部を助成いたします。（注1）本部事務室等の設備整備・備品等の調達（本部事務室用パソコン・ソフトウェア等）は対象外。（注2）継続した活動実績が3年未満の団体は対象外。

応募期間 2024年8月1日(木)～2024年9月25日(水)（当日消印有効）

【問合せ】 公益財団法人タチバナ財団 事務局

TEL:03-3667-7070（平日 10:00～16:00）

Email:zaidan@t-group.co.jp

WEB:http://www.t-group.co.jp/zaidan



※詳細・最新の情報は、問合せ先の応募要項を必ずご確認ください。

助成金情報

♥「芸術活動助成金」2024 年度／朝日新聞文化財団

概要 音楽会、美術展覧会等への助成を通じて、文化、芸術等の発展、向上に寄与することを目的とします。

助成金額 1件あたり：5万円から100万円※助成総額は、音楽・美術両部門で総額1,500万円を予定しています。

助成対象 芸術的水準が高いと認められ、原則としてプロ、あるいはプロを目指す芸術家が出演者、出展者として行う事業で、次のいずれかの要件を満たすことが必要です。a 芸術上の啓蒙普及的意義のあるもの b 芸術家に発表の機会を広げるもの c 地域の芸術文化向上に資するもの

応募期間 2024年7月1日～2024年10月25日（WEB上申請手続きが完了していること）※当財団のWEB申請システム(<https://system.asahizaidan.or.jp/>)により手続きを行ってください。※郵送等による申請書類は受理しませんのでご注意ください。※申請はWebのみとなります。

【問合せ】 公益財団法人朝日新聞文化財団

TEL：03-6269-9441

E-mail: josei@asahizaidan.or.jp

WEB: <https://www.asahizaidan.or.jp/index.html>



さいたま市で活動する市民活動団体に Interview (vol.14) 特定非営利活動法人 ハンドセラピー・彩

第14回目にご紹介する市民活動団体は、「特定非営利活動法人ハンドセラピー・彩」です。2010年に発足し、埼玉県を中心にハンドセラピーの普及やボランティアの養成を目的に活動されています。今回は代表理事の押元さんにお話を伺いました。

「ハンドセラピー・彩」について教えてください。

私は20代のときから、日本赤十字社のボランティア活動に参加していました。その活動を続けるなかで「セラピューティック・ケア・サービス（リラクゼーション＆ハンドケア）」というものを知りました。これは1950年代に英国赤十字社が開発した、道具などを使わずどんな場所でも、手の温もりで人を癒すことができるものです。そのようなケアがあるのであれば、是非学ぼうと当法人の設立メンバーである6人で現地イギリスへ行き、研修を受け、日本での普及活動の承認もいただきました。その後、法人設立時にこのケアを「ハンドセラピー」と名付け、埼玉県を中心に「養成講座」や「地域ふれあい講座」などの講習会を通して学んだ知識と技術を活かし、普及活動・ボランティアの養成を行っております。また、福祉施設への訪問や地域イベントの参加など地域ボランティア活動にも取り組んでおります。活動を始めて今年で15年目を迎えました。

ハンドセラピーの魅力を教えてください。

心を温められることではないかと思います。ハンドセラピーはマッサージのように体を癒すものでなく心を癒すもので、講習さえ受ければどなたでもできるものです。実際に手の温もりを感じることで、ハンドセラピーを受けている方は癒され、心と身体がリラックスします。また、イベントで気軽にボランティアの第一歩として始められることも魅力の一つです。会員の中には、ボランティア未経験で、ボランティアは初めてという会員が沢山います。イベントの際に体験し、「あの時、癒やされたなあ…」 「これなら、できるかも？」など小さなことが、講習会に参加することへのきっかけになり、地域へ踏み出すボランティアへの第一歩からボランティア講師になる会員もいます。



交流会についてお聞かせください。

「会員の皆様とご家族、お友達、日ごろお世話になっている関係者・団体様と一緒」を合い言葉に年に一度、交流会を開催しております。今年は「落語会と防災セミナー」を大宮レイボックホール・小ホールで6月3日に開催しました。第1部には、「浦鐘家清五楼」氏による出張落語会。江戸の洒落た噺を語るなかで団体の名前を挟むなど、粋な計らいがあり嬉しくなりました。第2部には、「日本赤十字社埼玉県支部」による「赤十字防災セミナー」を行い改めて心のケアの大切さを学びました。また、開演前と休憩時間にホワイエで「ハンドセラピー無料体験」「能登半島地震の募金箱の設置」も行い、「笑い」と「学び」と「癒し」のひとときを過ごしました。誰でも参加できるイベントなので、多くの方の参加をお待ちしております。

入会するための条件や方法を教えてください。

会員に正会員と個人、団体の賛助会員があります。正会員はハンドセラピー養成講座にご参加会いただき、会の目的や活動に賛同していただける方であれば、どなたでも会員になれます。HPの会員募集中の頁からお問い合わせください。

今後の活動の目標を教えてください。

ハンドセラピーの技術は、英国赤十字社から学んだ大切な宝物です。今、団体との連携の中で、中学校に出向き体験学習をおこなっています。高学年になると思春期を迎えると色々場面に遭遇し、自己表現が上手く出来なくなり、ストレスを抱える児童・生徒が多くなると伺いました。保護者とのコミュニケーションが減る時だからこそ、ケアを学び「ありがとう」の気持ちを込めてこの活動を開始し、好評を得たことから高校でも実現できないかと模索しております。また、一番大切なことは心と身体の癒しの知識と技術を多くの方に学んでいただき、継承していき、皆さんの心の癒しを提供できるような活動を進めていきたいと思っております。

インタビューを終えて・・・

年に一度の交流会の忙しい中インタビューをさせていただきました。サポートセンターの今まで参加したイベントのことで話が盛り上がり、サポフェスでのさいたま市のPRキャラクター「つなが竜」を癒す貴重な体験は、楽しみで来年は誰が癒すのか話しが盛り上がっています。代表理事の押元さんと会員の方々の温かい人柄を感じる幸せの一日になりました。



【お問い合わせ先】 特定非営利活動法人ハンドセラピー・彩 代表理事：押元則子

TEL：048-651-3801（受付時間 8:00-23:00）

HP：<https://handtherapy-sai.org>

【HP】

